

農委だより

第161号

令和8年9月24日

発行：加古川市農業委員会

TEL：079-427-9369

編集：農委だより編集委員



▲ 農業委員会年次総会開催



▲ 市長表敬訪問

7月21日（火）に、新体制による農業委員会年次総会が開催されました。（写真左）

8月6日（木）に、新体制を代表して会長、副会長、農地委員長、総務委員長の4名が岡田市長を表敬訪問し、本市農業の振興と地域の活性化等、市の農業施策について意見交換を行いました。

（左から藤原総務委員長、丸山会長、岡田市長、橋本副会長兼農政委員長、長井農地委員長）（写真右）

会長挨拶

加古川市農業委員会 会長 まる やま りょう さく 丸山 良作

仲秋の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、農業委員会活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、農業委員会は、農業委員による合議体として、農地法をはじめとする関係法令に基づく許認可事務を担う、市長から独立した行政委員会です。地域農業者の代表として、本市農業を取り巻く社会情勢の変化に対応しながら、農地の権利移動に関する法令事務をはじめ、農政の推進や農業者への情報提供など、地域農業の振興に重要な役割を果たしてまいりました。

このたび、前期委員の任期満了に伴い、先般、7月21日に市長から新たな農業委員への任命辞令が交付されました。その後開催された年次総会において、委員の互選により会長に選任されました。職責の重さを実感するとともに、その責務を全うすべく身の引き締まる思いであります。

ご承知のとおり、農業を取り巻く環境は年々厳しさを増しております。農地法等に基づく許認可業務の適正な執行はもとより、遊休農地の発生防止・解

消、担い手への農地の集積・集約化、新規就農者の確保・育成など、「農地等の利用の最適化の推進」に積極的に取り組んでまいります。また、その中核となる各地域の「地域計画」の策定・見直しにおいても、農業委員と農地利用最適化推進委員が一丸となり、地域の実情に即した農業の将来像づくりに尽力してまいります。

さらに、農業委員会では「農地委員会」「農政委員会」「総務委員会」の三つの専門委員会を設置し、それぞれの機能を生かした活動の充実に努めてまいります。あわせて、本市独自の取組である市内6ブロックでの「農地を活かし隊」活動をさらに充実させ、地域に根差した委員会活動を推進してまいります。

また、前期から掲げております農業委員会スローガン「食を守る・農地を守る・地域を守る」を引き続き実践し、地域農業の持続的な発展に向け、委員一同、力を合わせて取り組んでまいります。

今後とも、皆様方の一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげ、就任のごあいさつといたします。

農業委員会年次総会開催

7月21日(火)、任期満了に伴い新たに18人の農業委員が市長より任命されました。

任命辞令交付の後、農業委員会年次総会が招集、開催され、岡田康裕市長からのご挨拶、ご来賓を代表して中村亮太市議会議員、県農林水産振興事務所の川端忠則所長からご祝辞を賜りました。

その後、互選によって、会長に丸山良作委員、副会長に橋本末弘委員が選出され、総会審議を経て19人の農地利用最適化推進委員(以下「推進委員」)が委嘱されました。

また、会長指名で各内部委員会委員長・同代理が選任され、さらに市内6ブロックの推進委員互選により農地利用最適化推進地区部会長が選出され、農業委員会の運営を担う農業委員会役員構成が決まりました。

ご臨席の 来賓の皆様

- | | |
|-----------------------|---------|
| ● 加古川市議会 議長 | 中村 亮太 様 |
| ● 県加古川農林水産振興事務所 所長 | 川端 忠則 様 |
| ● 県加古川農業改良普及センター 所長 | 岡本美都子 様 |
| ● 加古川市農業団体連合会 会長 | 富木 茂樹 様 |
| ● 兵庫南農業協同組合 代表理事組合長 | 野村 隆幸 様 |
| ● 加古川市南農業協同組合 代表理事組合長 | 福澤 高志 様 |
- ご多用の中ご臨席ありがとうございました。

加古川市農業委員会 役員

役 職 名	氏 名
会 長	丸山 良作(委)
副 会 長	橋本 末弘(委)
農 地 委 員 会 委 員 長	長井 義弘(委)
農地委員会委員長代理	貴傳名得博(委)
農 政 委 員 会 委 員 長	(橋本副会長 兼務)
農政委員会委員長代理	宇野 孝(委)
総 務 委 員 会 委 員 長	藤原 正樹(委)
総務委員会委員長代理	井相田つや子(委)

役 職 名	氏 名
農地利用最適化推進地区部会長 (第1区:加古川・尾上・別府)	庄司 学(推)
農地利用最適化推進地区部会長 (第2区:野口・平岡)	橋本 賢造(推)
農地利用最適化推進地区部会長 (第3区:神野・八幡)	田代 修三(推)
農地利用最適化推進地区部会長 (第4区:平荘・上荘)	前川 博邦(推)
農地利用最適化推進地区部会長 (第5区:東西神吉・米田)	久保 文明(推)
農地利用最適化推進地区部会長 (第6区:志方)	好田 邦弘(推)

※(委) 農業委員 (推) 農地利用最適化推進委員

農業委員会の活動は、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携して行います

農業委員の主な役割

農業委員は、合議体として最終的な意思決定を行います。

- 農地等の権利移動、転用許可申請の許認可にかかる審議(現地調査・聞取調査等含む)
- 遊休農地に対する指導等(利用状況調査)
- 「農地利用最適化推進指針」等の作成
- 農地等の利用の最適化の推進のための活動…等

連携

農地利用最適化推進委員の主な役割

農地利用最適化推進委員(推進委員)は、担当地域において、農地等の利用の最適化の推進のための活動を行います。

農業委員と連携して現地調査等を行うほか、担当地域における農地等の利用の最適化の推進に関する活動(遊休農地解消・担い手への農地の集積(「地域計画」の策定推進含む)・新規参入の促進等)並びに「農地利用最適化推進指針」の作成に参画し、また、必要に応じ、農業委員会の総会(月次・臨時・年次)等で意見を述べます。

新 農業委員です

よろしくお願いします



稲岡 幸作
加古川町



宇野 孝
別府町



中川 正晴
野口町



黒田 育利
平岡町



橋本 末弘
神野町



篠原 武巳
八幡町



前田 祥道
八幡町



岩脇 政明
平荘町



都倉 澄子
平荘町



高橋 美代子
平荘町



前川 裕美
上荘町



井相田つや子
上荘町



柿本 真千代
上荘町



長井 義弘
東神吉町



田中 幸和
西神吉町



丸山 良作
志方町



藤原 正樹
志方町



貴傳名 得博
志方町

新 農地利用最適化推進委員です

よろしくお願いします



福田 一雄
加古川町



庄司 学
加古川町



大西 和民
尾上町



山口 衛
別府町



池澤 孝人
野口町



橋本 賢造
平岡町



大形 雅則
神野町



松尾 信也
八幡町



田代 修三
八幡町



来田 昭義
平荘町



藤原 博雅
平荘町



前川 博邦
上荘町



久保 文明
東神吉町



増田 博文
西神吉町



伊藤 範秀
米田町



安本 重信
志方町



好田 邦弘
志方町



東田 富能
志方町



三村 直仁
志方町

委員紹介



志方町

農業委員 丸山 良作

農業委員4期目の丸山です。現在、志方東営農組合の代表として、地域農業が抱える高齢化や担い手不足といった諸問題と向き合っております。今後は農業委員としても行政・JAと連携しながら農地の適正管理と担い手確保に努めてまいりたいと思います。持続可能な地域農業の実現に向け、誠実に職務を果たしてまいります。



神野町

農業委員 橋本 末弘

農業委員2期目の橋本です。1期目の時、自分の住む地域の地域計画を、皆さんの協力によりまとめることができました。地域の大切な農地は地域で守るとの理念のもと、農業に取り組んでいます。今後とも地域の皆さんと協力して農地を守っていききたいと思います。



東神吉町

農業委員 ながい よしひろ 長井 義弘

農業委員2期目の長井です。日本の農業がこの先どうなっていくのか、心配しています。現場では、後継者問題や担い手不足などの問題が深刻化しています。農業の活性化に少しでも貢献できるようがんばります。



志方町

農業委員 ふじわら まさき 藤原 正樹

農業委員2期目の藤原です。現在、水稻の環境保全型農業を実行中です。レンゲ・ヘアーベッチを鋤き込んで、化学肥料の散布量を大幅に抑えています。また、令和6年から、地域の方々と協力して畑地化圃場で渋柿の栽培に取り組んでいます。夏場の草刈りや水やりは大変ですが、3~4年後には徐々に出荷できればと楽しみにしています。

農地相談日

農地問題について、農業委員2名による相談を実施しています。

- 時 間 午後1時30分から4時まで
 - 場 所 農業委員室(市役所新館3階)
 - 申 込 先 農業委員会事務局(TEL 079-427-9369)
 - 申込期限 相談日の1週間前まで
- ※事務手続などのご相談は、相談日以外も随時受け付けています。

今後の相談日 10月8日(木) 11月5日(木) 12月3日(木)

今後の申請締切日・月次総会の開催予定日

令和8年(2026年)	申請等受付締切	月次総会
10月	13日(火)	27日(火)
11月	10日(火)	25日(水)
12月	7日(月)	21日(月)

※諸事情により、日程に変更が生じる場合があります。
※市街化区域の転届届出、相続の届出等は随時受付

全国農業新聞を購読しませんか

全国農業新聞

●カラー版 ●毎週金曜日発行 ●月900円

お申し込みは、地元農業委員
または農業委員会事務局へ

<https://shinbun.nca.or.jp/>

HPIは
こちら



農業者年金に加入しませんか

- ① 60歳未満の方
- ② 年間60日以上農業に従事
- ③ 国民年金第1号被保険者

①~③の要件を満たす方なら、
どなたでもご加入いただけます。

お問合せは農業委員会事務局またはJAへ

※60歳以上65歳未満(国民年金の任意加入者)の方も
ご加入いただけるようになりました。詳しくはお問合せください。

独立行政法人
農業者年金基金 HP



<https://www.nounen.go.jp>